

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日: R5年 3月14日

配布13 回収13 回収率100%

事業所名: 児童発達支援事業ほ一ぷ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	療育室は基準を満たしています。(個別療育室、運動療育、多目的)	はい 13 ・人数に対するひろさは十分あります。 ・広くて気持ちが良い。 ・いつも綺麗な空間で気持ちが良いです。	療育はお子さんの年齢や特性に合わせて、丁寧に、細やかな支援が出来るよう努めていきます。
	2 職員の適切な配置	基準通りの人員配置しています。	はい 13 ・先生方の数も多く優しく手厚い指導に感謝しています。 ・子どもの数が少人数で見て頂いているので本人も先生たちと楽しく過ごせています。 ・職員の方が素晴らしい。	お子さん一人ひとりの個性に合わせて対応に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	建物の2階の部分で階段ですが、室内は全てバリアフリーになっています。イラストや表で示す教材を作成し、それを用いて情報伝達を行っています。	はい 13 ・とても綺麗な部屋で視覚支援がされて分かりやすい。 ・ロッカーなど本人の写真が貼ってあり分かりやすいです。	今後も、分かりやすい情報伝達を行い、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備を行っていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	新型コロナウイルス感染防止のため手洗い消毒などの衛生面ではチェックリストを用いて実施しています。	はい13 ・綺麗でお部屋ごとに活動が出来る空間になっています。 ・新しく、掃除もされていて清潔である。	今後も、遊具の消毒・手洗い・手指の消毒日々の清掃等で常に清潔に保ち、お子さん達の活動に合わせた生活空間の確保に努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員会を行い、ケース会議、事例検討会議等の業務改善をすすめるためPDCA方式で行っています。		今後も業務改善を進めるための、PDCA方式を活用していきたいと思っています。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は行っていません。		第三者による外部評価の予定はありません。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	神戸市総合児童センター主催発達障害支援サポート事業、発達障害者支援センターなどの研修に参加しています。またこども発達支援研究会主催の研修に参加し勉強会を行っています。		今後も、情勢に応じながら研修に積極的に参加し、情報収集を行い、日々の療育に生かすための知識や技術を磨き力を尽くします。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時に丁寧に聞き取りを行い、日々の連絡帳、面談等で保護者の方のニーズや目標を共有し合い、お子さんの発達状況に応じた個別支援計画を作成しています。	はい 13 ・本人の今の姿をよく捉えて課題を提案して下さり、親の意見もしっかりと聞いて計画に入れて下さっていると思います。 ・苦手な事もたくさんありますが丁寧に支援がされていると思います。	今後も、保護者のニーズやお子さんの発達状況に応じて集団活動や個別活動を使い分け支援出来るよう計画を作成していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者のニーズやお子さんの発達状況に応じて、集団活動や個別活動を使い分けて支援できるよう計画を作成しています。	・相談、連絡、意見のすり合わせが出来ている、そういった機会も設けてくれている。	今後も、保護者のニーズやお子さんの発達状況に応じて集団活動や個別活動を使い分け支援出来るよう計画を作成します。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	療育内容、体力づくり、身辺自立の獲得コミュニケーション、対人関係・社会性、家庭支援や地域支援などを記載しています。		今後もお子さんに合った支援、必要な項目の設定や具体的な支援内容を記載していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	お子さんの発達状況を職員間で共有し合い、職員会議を行った際には職員間で支援計画を確認し、改善を行うようにしています。	はい 13	今後も、お子さんの発達状況を職員間で共有し合い、児童発達支援計画に沿った適切な支援の実施を行います。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	活動プログラムは担当者が立案しています。		今後も、職員会議や日々の療育の中で職員全員で話し合い活動のプログラムを作成していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	月曜日から金曜日まで開所しています。年末年始以外の長期休暇は設置していません。		お子さんの生活リズムに配慮した上で、きめ細やかな療育が行えるよう努めます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	1週間ごとの活動プログラムを設定し偏らないよう工夫しています。お子さんのニーズに合わせた療育プログラムを組んでいます。	はい 13 ・季節に合った歌や手遊びが取り入れられている。 ・ハロウィンやクリスマス等の行事もあり、季節が感じられとても楽しんでいます。 ・さまざまなことをしている。 ・色々していただきとても満足。 ・毎回色々な取組が合って本人も楽しんでます。 ・連絡帳にも色々な活動が書いてあり、安心している。	今後も、お子さんの状況に応じた療育を実施し、新たな活動プログラムを取り入れながら活動の幅を広げていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前における職員間でその日の支援の内容や役割分担についての確認をしています。		今後も、職員間で情報共有を行い役割分担についての確認を徹底していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終了前に、リーダーが支援の内容を振り返り支援方法の気づいた点や改善点などの情報共有を毎日行っています。		今後も、職員間で支援の内容や状況を振り返ることで個々のお子さんの支援に活かせるよう努めます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	その日のプログラムに沿った個別記録を作成しています。支援の内容も週案の評価反省欄に記入し、職員間で共有しています。		今後も、記録の徹底、保護者の方に正確な情報をお伝えし、職員間での支援の振り返りや改善、お子さんの成長に生かせるよう努めます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	3か月に1度、モニタリング全職員で個別支援計画の見直しを行っています。		今後も、情勢や保護者の方のご希望に応じモニタリングの頻度を増やすことも検討しています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	相談支援事業所とつながったお子さんはありません。		今後、障害児相談支援事業所の担当者会議が行われた際には参画します。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアが必要なお子さんは通所しておりません。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的なケアが必要なお子さんは通所しておりません。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者の方からのお話を聞かせて頂いたり、こども園、保育園の先生方から定期的に話し合いました。幼稚園は電話でのお話をさせて頂き情報を共有しています。		今後も、引き続きこども園、幼稚園、保育園等の見学や話し合う機会を作り連携に努めます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	認定こども園、保育所、幼稚園他の療育機関との連携や情報共有など実施しています。		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	神戸市総合児童センターの実施している研修やこども発達支援研究会主催のオンラインでの研修にも参加しています。		今後も、積極的に研修に参加し、職員の資質向上に努めます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	保育園、認定こども園、幼稚園等の交流を行い情報を共有し、連携を図っています。	はい 8, いいえ 1, わからない 4 ・幼稚園で十分機会が得られているので児童発達支援では必要ない。	今後も、保育所、認定こども園、幼稚園等の交流を行い、情報を共有し連携を図っていきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域行事などへの参加は出来ていません。		今後情勢を見ながら、地域交流イベントに参加する機会があれば伝えていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に口頭で重要事項説明書に基づき利用者負担等を丁寧に説明しています。	はい 13 ・丁寧な説明がありました。 ・申し分ないです。	今後も、契約時の説明だけでなく疑問や質問にもお答えし、丁寧な説明を心がけていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画には保護者の方と面談を行い、ニーズや支援内容を丁寧に説明を行っています。	はい 13 ・丁寧な説明がありました。 ・申し分ないです。	今後も、個人面談等でニーズや支援内容を保護者の方に丁寧に説明を行い、共通理解できるよう努めます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングは実施していませんが、保護者の方のご要望に応じて療育の様子を見て頂いたり、お家で簡単に出来る療育をお伝えしています。	はい 9、いいえ 1、わからない 3	今後、ペアレントトレーニング等の支援の実施を検討していきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時にその日の様子をお伝えし、連絡帳でも療育内容や様子をお伝えしています。	はい 13 ・いつもわかりやすい記録を書いて頂いています。 ・毎回連絡帳に丁寧に記載されており活動の様子がよくわかります。	今後も、丁寧な対応に心がけ保護者の方との情報や連絡等々で共通理解に努めていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	子育て相談は送迎時や療育日に相談をお聞きしその都度対応しています。	はい 13 ・的確なアドバイスをしてくださるのでいつも助かっています。	今後も、相談しやすい環境を整え様々な悩みに対応していきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会の活動支援は行っていません。	はい 3、どちらもいえない 2 いいえ 1、わからない 7 ・1年に1回くらいは保護者会など親も一緒に楽しめる会があったらいいと思います。	保護者の方から父母の会の活動支援の要望があればコロナ感染対策を講じた上で開催を検討していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情は寄せられていませんが、保護者の方からのご意見やご要望頂いた折には速やかに対応行い、環境等々の改善に努めています。	はい 10 わからない 3 ・苦情を聞いた事がないのでわかりません。 ・コロナなどちゃんとしてくれています。	苦情に対する対応体制は重要事項に記載して保護者の方に周知しています。苦情があった場合は迅速かつ適切に対応していきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	意思疎通が難しいお子さんには、視覚支援を行っています。また、絵カードで言葉の代わりにコミュニケーションが取れるように工夫しながら、取り組んでいます。	はい 13	今後も、一人ひとりに合わせた視覚支援等々に努め保護者の方との適切な情報伝達の為の配慮に努めます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	年4回(春夏秋冬)保護者の方向けにお便りを発行しています。	はい 13 ・カラーの便りで楽しいです。 ・ゴドモン配信や連絡ノートなど連絡は取り合うことが出来ています。	今後も、お便りや連絡帳などで保護者の方にお子さんの様子や療育内容等々きめ細かくお伝えしていきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人ファイルは鍵付きの書庫で保管し、名前等で記入されている書類はシュレッターにかけるなどの対応をしています。	はい 13	今後も、個人情報の取り扱いには漏れがないよう十分に配慮し、細心の注意を払っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員会議の際、職員全員で緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応について確認しています。		お便り等で保護者の方にも緊急時対応マニュアル防犯マニュアル、感染症マニュアルの周知徹底し安心安全につなげるよう努めます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に、防災訓練、や避難訓練を行い、実際に避難指定場所へ移動し避難経路の確認を行っています。防犯に訓練に対しては実際に警察官に来て頂き、不審者に対するの避難の仕方等々を学びました。	はい 11, わからない 2 ・適切にされている。 ・避難訓練時の様子もきちんと教えて頂いています。	今後も定期的に防災等々訓練や、避難訓練、救出などの必要な訓練の実施を行ってまいります。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	2ヶ月ごとに虐待防止研修や、虐待防止チェックリストも行っていきます。職員全員で意見交換したり共通理解をしています。		今後も、虐待防止研修を行い、厳重な運営に努めます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行った事はありません。		身体拘束に関する項目は運営規定に記載しています。万が一やむえず必要が予測される場合は保護者の了解を得た上で、個別支援計画に記載します。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約の時、食物アレルギーの有り、無し用の紙に記入して確認しています。食物アレルギーのお子さんはいませんでした。		必要に応じて服薬や緊急時の対応等の取り決めを行います。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットが起きた時は、ヒヤリハット用紙に記録を残し、職員間で情報共有しています。		職員全員での情報共有、原因究明、分析を行い、再発防止に努めます。
アンケート回答にご協力頂いた皆様、本当にありがとうございます。 頂いた評価・ご意見は今後の事業運営に活かしてまいります。				